

（件名）フィリピン開催の旅行博で北海道観光をPR
■はじめに

フィリピンの首都マニラで開催された旅行博「Travel Madness Expo 2023」に参加して北海道観光をPRしてきましたので、その様子をお伝えします。

この旅行博はマニラ市内最大規模のコンベンションセンターで開催され、3日間で3万人以上の来場がありました。旅行博にしては珍しく入場料（150ペソ、日本円で約390円）がかかります。ちなみにフィリピンで人気のハンバーガーチェーン「ジョリービー」のハンバーガーセットが141ペソ（約366円）です。つまり来場客はちょっとした昼食代相当のお金を払ってこの旅行博に参加しているわけで、皆本気です。そのようなお客様相手に、100を超える事業者がブースを出してPRを行う中、当事務所もJNTO（日本政府観光局）が出展したジャパンパビリオンの一部に参加する形で北海道プロモーションを行いました。

Travel Madness Expo 2023 概要

日時：6月30日（金）～7月2日（日） 10時～19時

会場：マニラ市内 SMX Convention Center

日本ブース：JNTO マニラ事務所がジャパンパビリオンを設置、11の自治体・企業がブース出展
当事務所はCLAIR（自治体国際化協会）シンガポール事務所の出展ブースに参加

■フィリピンから北海道への観光客数は？

コロナ前の平成30年度の数字を見ると、主なASEAN各国から北海道への観光客数は以下のとおりとなっています。

平成30年度訪日外国人宿泊客数（全道）

（単位：人）

国	タイ	マレーシア	シンガポール	インドネシア	フィリピン	ベトナム
宿泊客数	439,175	281,476	227,174	79,167	43,278	9,801

※道経済部観光局調べ「北海道の観光統計」より引用

ご覧のとおり、フィリピンから北海道を訪れる観光客数は、他国に比べるとまだまだ伸び代があります。旅行者数が少ないということは、北海道の知名度がそこまで高くないのではと思います。「北海道は日本の一番北にあって、自然が豊かで、美味しいものがいっぱいありますよ」という一般的な宣伝を行うつもりでマニラ入りしました。

■実際旅行博に参加してみると・・・

皆様想像以上に北海道に詳しいので驚きました。今回の旅行博で来場客から受けた相談のうち、そのほんの一部を以下ご紹介します。

（事例1）

先方「来週個人旅行で札幌に連泊する。美味しいラーメンと寿司を食べたい。ラーメンはラーオン共和国に行く予定だが、安くて美味しい寿司屋はないか」

当方「札幌駅直結の大型商業施設の飲食店フロアに、外国人観光客からも人気の回転寿司屋がある。昼時は長蛇の行列ができるので時間帯を外した方が良い」

（事例2）

先方「自分はマニラで旅行店に勤めており、40人のお客を来月北海道に連れて行くが、初めての北海道で土地勘がない。大通公園近くのホテルに宿泊するが、近くに買い物出来るデパート、それにドン○ホーテはないか。あと両替所は近くにあるか」

当方「札幌駅直結の百貨店と大型商業施設がありショッピングに最適。お探しの店舗は狸小路にあるほか、両替所は近隣に複数あるのでご安心を」



（事例3）

先方「前に札幌に行ったことがあり北海道の他の場所を見たい。寒い冬は苦手。おすすめは？」
当方「オホーツク管内では春になるとシバザクラやチューリップなど、色とりどりの花が楽しめる。羽田から女満別空港行きの飛行機を使えばアクセスも良い」

■鉄板の北海道観光コース？

ちなみに、一番多かった相談が以下になります。

「これまで東京や大阪を旅行したが、北海道にはまだ行ったことがない。おすすめのコースは？」

この相談に対して、道内各地にある様々な観光地を紹介したかったのですが、先方からは「ショッピングをしたい。温泉に入りたい。有名な観光地を巡りたい。レンタカーは不安だから JR を使いたい」とのリクエストがあり、結局以下回答になりました。

「新千歳空港に降り立ったら、まずはショッピングやグルメを楽しめる札幌へ。札幌からは日帰り圏内で、運河で有名な小樽、ユニークな動物園が魅力の旭川などがあるし、少し足を伸ばせば有名な温泉地の登別、世界的スキーリゾートのニセコもある。札幌を拠点に日帰り観光も良いし、それぞれの場所で一泊するのも一案」

このコース、多くの外国人観光客が巡る鉄板コースと聞いたことがあります。折角だから独自性のあるコースを紹介したかったのですが、交通アクセスや先方リクエストを踏まえると自然とこのコースが浮かび上がってくるように思えました。

東京、大阪、京都といった「ゴールデンルート」を旅行した外国人観光客がその後に北海道を訪れるように、札幌、小樽、登別等を旅した人が、その後道内の他地域を訪れるのではと考えると、リピーターを増やす取組は大切だなと感じました。

■観光を切り口に広がる経済交流

北海道を訪れた外国人観光客が旅先で美味しいご飯を食べたら、「自分の国でも食べたい」と思うでしょうし、そんな人が多くなれば「人気の北海道産食品を輸入して商売すれば儲かるのでは」と考える業者も出てくるでしょう。

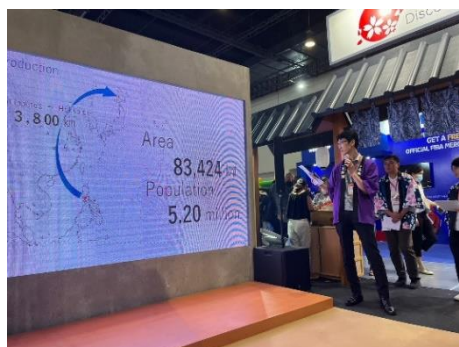
多くの人が旅行で北海道を訪れ、現地スーパーの棚で北海道産品が並ぶなどして、北海道の知名度が上がれば、「北海道ともっと色々な分野でビジネスが出来るのでは」と思いつく人が出てくるかもしれません。その結果として、道内企業が現地に進出、あるいは現地企業が北海道でビジネスを立ち上げるなどの動きにつなげることが出来れば、経済交流は更に活発になります。

このように、観光を切り口に、食の輸出、道内企業の海外展開、北海道への投資誘致など、様々な分野での交流を活発化していくことが大事であり、これが海外事務所の重要な役割の一つと考えます。今回のフィリピン旅行博では北海道への高い関心を肌で感じる事が出来ました。今後も両地域の経済交流拡大に向け、様々な角度からのアプローチを考えていきたいと思います。

■旅行博の様子



来場客からは北海道観光の質問が多数



北海道観光のプレゼン（カンペはご愛敬）